



# 里公小だより

【教育目標】

学びとる子 思いやる子 きたえる子

R6年8月



7月24日

陸上自衛隊高田駐屯地音楽クラブの皆さんの演奏に感動の子どもたちです。

## 2学期も「みんなで笑顔になろう」

校長 堀川 邦夫

8月26日（月）からは、里公小学校の2学期がスタートします。子どもたちが元気な姿で登校してくることを楽しみにしております。

写真で紹介させていただいたのは、7月24日に行った陸上自衛隊高田駐屯地音楽クラブの皆さんの演奏会の様子です。この会は、閉校記念事業委員として、今年度の閉校事業にご尽力いただいている町内会長様からお話をいただき実現することができました。

「聖者の行進」や「ふるさと」などの演奏に子どもたちの目も輝き、会場の体育館が一体となった演奏会になりました。音楽クラブの方からは、曲の合間には、子どもたちに「好きなものを続けていくこと」「あきらめないで努力し続けること」などのメッセージをいただきました。

最後に、子どもたちへ感想を聞いたところ、たくさん子どもたちが自分から進んで発表をしました。子どもたちの発表からも感動した様子が伺えました。

来年度の三和小学校新設に向けて、今は、校舎内外での工事をしています。2学期に入ってから、工事が続きますが、子どもたちの安全を最優先に取り組めるよう、工事業者さんと連絡を密に取り組んでいきます。

1学期の終業式の日朝、子どもたちと話をしていたら、ある子どもから「校長先生、今度トイレが新しくなるんだよ。楽しみだね」と前向きな声を聞き、うれしくなりました。

2学期も工事は続きます。トイレの改修や体育館のLED電灯交換工事などで子どもたちの活動が一部制限されてしまいます。また、マラソン記録会はグラウンドにも囲いが設置され、コース設定ができないため今年度は行いません。その分、教室内がより使いやすく整備され、特別教室やランチルームにもエアコンが設置されるなど、より快適な学校になる予定です。

2学期も「みんなで笑顔になろう」を合言葉に、子どもたちを主役とした教育活動に取り組んでいきます。保護者、地域の皆様には1学期同様のご協力、ご支援をいただきますようお願いいたします。

# 同和教育を推進します。三和区小中学校共通取組

三和中学校区の各小中学校では、令和6年度、令和7年度の2年間、同和教育研究指定地区制度（第3次）推進事業の指定を受け「三和中学校区同和教育推進協議会」を設定しました。三和区の小中学校が、児童生徒一人一人に鋭い人権感覚を育む教育を推進するために、次のように主題を設定し、共通の取組をしています。

## 1 三和中学校区共通研究主題

「差別や偏見を自分事として捉え、解消に向けて行動する児童生徒の育成  
～認め合い、かかわり合うための同和教育実践の推進～」

## 2 主な取組

### （1）中学校区同和教育計画の見直し

三和中学校区として小中9年間で実践する部落問題学習、人権教育の授業計画について、「当事者意識を高め、問題解決に向けて行動する」ことに重点を置いた計画になるよう見直しをしていきます。

### （2）職員研修と授業改善

全教職員が「同和教育、人権教育に関する研修会・学習会」や先進校研究会等に積極的に参加し、教職員自らの人権感覚を磨いていきます。また、同和教育副読本「生きる」等を使った授業を他校教員にも公開し、互いに見合い、学び合うことを通して、教員一人一人の授業力向上を目指します。

### （3）保護者、地域への啓発活動

三和区小中学校で取り組んでいる研修や活動の様子を保護者、地域の皆様にご紹介していきます。また、各学校で「部落問題学習、人権教育」の授業を学習参観等で保護者、地域の皆様に公開し、授業の感想やご意見をいただき、今後の実践に活かしていきます。

### （4）児童生徒へのアンケート調査

今年度の2学期、3学期末、来年度の計3回、小学校4年生～中学校2年生を対象とした同和教育に関するアンケート調査を行います。2年間のアンケート結果から、取組の成果や課題等を明らかにし、次年度へ確実に活かしていきます。

## 部落問題学習、人権教育の授業づくり研修会の様子を紹介します

6月24日に三和区小中学校の教職員が美守小学校に集まり、「かかわる同和教育と部落問題学習、人権教育の授業づくりについて」をテーマとして、上越市教育委員会学校教育課の曾根原至指導主事を講師にお招きして、研修会を実施いたしました。

曾根原指導主事からは、授業を行う際の「事前学習の工夫」や「展開の工夫」など、具体的な実践例を基に分かりやすくご指導をいただきました。

また、実際の授業の中で、「当事者意識を高めた子どもの具体的な姿とは？」「当事者意識を高めるための工夫や大切にしていること」について、各学校の教職員がグループになり、互いの意見を交流する中で、授業で大切にしていくことを再確認することができました。

最後に、曾根原指導主事から「かかわる同和教育は教員自身の自らの生き方を捉え直すことが大切である」とお話いただき、三和区全体で教員自身の変容が児童生徒の変容につながっていくことを確認しました。

